

【タイトル】

在南アフリカ大使館からの注意喚起（車両を狙った犯罪対策）

【概要】

車両を狙った犯罪（車上狙い、カージャック、スマッシュアンドグラブ）が、近年、高い比率で発生しておりますので、安全対策を徹底し、十分注意してください。

【本文】

南アフリカにお住まいの皆様及び旅行者の皆様へ

在南アフリカ共和国日本国大使館

報道等によれば、5月15日16時半頃、ヨハネスブルグ市内から空港へ向かう途中（R24）で、ビジネスマン数名（南アフリカ人）が乗車していた車両がカージャック被害に遭い、同車両の運転手が小銃（AK-47）で射殺される事案が発生しました。空港近辺でのカージャック被害は近年頻発しておりますが、国籍を問わずにランダムに発生している傾向にあり、小銃を使った犯行は今回が初めてのケースであることから、注意が必要です。また、車両を狙った犯罪（車上狙い、カージャック、スマッシュアンドグラブ）が主に大都市において高い比率で発生していますので、以下の安全対策を徹底していただきますよう、お願いいたします。

万一、事件・事故等に巻き込まれた場合は、在南アフリカ日本国大使館に連絡してください。

1 車上狙い対策

（1）荷物は外から見える位置に置かずに、必ずトランク内に保管する。また、車内に貴重品を放置しない。

（2）駐車する場合には、駐車監視員の有無を確認し、死角になるような場所には駐車しない。店内からも視認できる位置、または入口直近、照明設備の効いた明るい場所に駐車するのが望ましい。

（3）ジャミングによる被害報告例が増加傾向にあるので、リモートキーを過信せず、ロック後は自分の手と耳と目で施錠を確認する。

（4）車内に複数待機したままの不審者がいないかなど、駐車後、出発時には周辺を確認する。

2 カージャック対策

(1) 空港出発時、銀行取引及びショッピング後には、出発時に、複数人が乗車したまま待機している、あるいはこちらの様子を窺っている様な不審者(車)がないか、出発後から追尾してくる車両はないかなど、周囲への警戒を怠らない。また、追尾車両を認めた場合には、警察署やモールなど、安全が確保できる場所に避難する。

(2) 交差点は停車することなく通過できるように速度調整を心掛ける。また、停車する場合には、すぐにその場から離脱できるように、前車とのスペースを少なくとも1台分確保する。

(3) 出発前にルートをよく確認し、犯罪多発地やルートを避け、交通量が比較的多い、明るい道を選ぶ。

(4) 身に覚えのない停止命令、他人からの声掛けには応じない。

(5) 不特定多数の者が自由に入出入り可能であるサービスエリアの利用は控えるとともに、ガソリンスタンドに併設されたATM、コンビニも同様の理由で極力使用しない。また、ガソリンの給油は極力日中に行い、燃料は常にタンクの半分以上を心掛ける。

3 スマッシュアンドGrab対策

(1) 交差点は停車することなく通過できるように速度調整を心掛ける。また、停車する場合には、すぐにその場から離脱できるように、前車とのスペースを少なくとも1台分確保する。

(2) 助手席、後部座席等、外側から目につく位置に荷物は置かず、必ずトランク内に保管する。

4 カージャック、スマッシュアンドGrabのホットスポット

下記HPにカージャック、スマッシュアンドGrabのホットスポットが掲載されていますので、同ホットスポットを通過する場合には、特にご注意ください。

<https://businesstech.co.za/news/motoring/175455/south-africas-worst-hijacking-and-smash-and-grab-hotspots/>

4 連絡先

Tel : +27 12 452 1500 代表 : 警備、領事